



同窓会会長

北原幸子

S30年卒業(旧姓 草野)

第29号

《発行》
 函館大妻高等学校
 同窓会
 「いとぐるま」編集部
 〒040 0002
 函館市柳町14番23号
 電話 0138 52 1890
 FAX 0138 52 1892
 印刷 (株)第一印刷

桜の花だよりが聞かれる陽春の佳き日、めでたくご卒業され同窓生となられた皆様に心からお慶び申し上げます。

会員の皆様には、定期便となっている同窓会誌「いとぐるま」でお会いしておりますが、ご清祥にお越しの事とうれしく存じます。昨年の北海道の夏は珍しく暑く又、全国的に数多くの台風による被害、さらに新潟県中越地震は時間を追うごとに甚大な被害状況で、誠にお気の毒でございました。会員の中にも被災にあわれた方がいらつしやるのではないのでしょうか。心からお見舞い申し上げます。母校の八十周年の行事もすでに終わり、これ迄を振り返りますと私が会をお預りしてからかれこれ

二十年に近い年月を、役員を始め多くの会員と共に過ごして参りました。二十年と云う年月の長短は別として、只々夢中で過ごして来たような気がいたします。

同窓生として母校の為に何をすべきかを考え、それを実行する事に目標をおき頑張ってこれたように思うのですが、もつと大きな目標が達成出来ていたらと思う欲もございません。しかし乍らこれ迄頑張ってこられたのは、ひとえに学園関係の方々を始め、PTAの皆様のご支援はもとより多くの同窓会員の深いご理解と母校に対する熱い思いから、快くご協力頂けた賜物であったと思えます。私をこれ迄支えて下さった役員の方々のお力もとても大きなもので、浅学

非才の私が会長の重責をなんとか果し得た事は、皆様のお力添えのお陰と本当にありがたかったです。改めて感謝を申し上げます。私自身母校愛で情熱を燃やせた事、又会員と心を一つに出来た事に幸せを感じる日々であつたように思います。母校は今後も益々充実発展し、時代のニーズに合った成長を遂げて行く事は間違いありません。同窓生も母校と共生し発展して行くように努力をする事は当然の事と思えます。

母校が発展し、すばらしい良き後輩達が巣立つ事は私達自身の幸せにも通じる事だと信ずるからです。この先九十年、百年と将来に向けてやらなければならぬ課題は残されておりますが、次代を担う若い会員の感性と情熱で、さらに会を盛り上げて頂き、本部・支部共に同窓会の第一の目的である親睦を大切にして母校の発展に寄与して頂きたいと願うところでございます。

どうぞこれからもお一人でも多くの同窓生がご自分の母校の為に、又後輩の為に心からご支援ご協力下さるようお願いし、合せて母校の益々のご発展と会員のご健勝を祈念申し上げます。これ迄を一つの節目と考え深い感謝を込め心からお礼を申し上げます。



最近おもう事

同窓会名譽会長 外山茂樹

同窓生の皆様、お元氣でお過し
でいらつしやいますでしょうか。
昨年の創立八十周年に際しては、
大変お世話になり誠にありがと
うございました。

同窓生の間では、創立八十周年
を契機に同期の集りが多くなつて
いるようです。先日、昭和三十
一年卒の同期会が恩師の百一歳に
なる富田千代先生をお招きして開
催され、盛況であつたそうです。

集まることをお聞きしておりまし
たので、学校案内等をお渡ししま
したが、出席者の皆様は久しぶり
に見る母校の様子に大変よろこん
でいただき、お話しに花が咲いた
とのことでした。今後、同期会
の開催をお知らせいただければ、
できる限り資料等を送りますので、
遠慮なくお申し出下さい。

さて、当地では少子化が急速に
進展しているため、三年後には函
館東高校と函館北高校とが統合さ
れることになりました。今後、少
子化のために生徒確保が益々厳
しくなつてきますが、他校にはで
きない本校独自の特色教育（家庭

科教育・福祉科教育）をより一層
おし進めながら頑張つていきたい
ものと考えております。

今回は、その一環として身体障
がい者ガイドヘルパーの資格が道
南ではじめて本校で取得できるよ
うになりました。これまでは高齡
者のお世話をする訪問介護員（ホ
ームヘルパー）の資格と介護福祉
士の資格のみであつたものが、福
祉科の生徒は、障がい者の居宅時
と外出時でのお世話もすることが
できるようになります。今後は、健
常者と障がい者が共に生活できる
共生社会の実現にいささかなりと
も貢献できるものと思われま

す。最後に、このたび永年にわたり
副会長として同窓会を楽しく盛り
あげていただいた山鼻米子様が退
任なされました。これまでの御尽
力に心から感謝申し上げます。思
います。なお、新しい役員となら
れた川原ヒサ様（昭和四十五年卒）
と平田優子様（昭和五十五年卒）に
は今後とも宜しく御協力のほどを
お願い申し上げます。それでは、
また来年の総会までさようなら。

また来年の総会までさようなら。



元氣をください

前相談役（前教頭）
本間洲芳

母校に元氣をください。
昨年の総会・親睦会は所用のた
め出席できず、大変失礼してしま
いました。心からお詫びします。

会の役員も改選されて若い同窓
生にバトンタッチされたように聞
いております。大妻高校教職員の
先輩として一言同窓生にお願いし
ます。かつての大妻高校は、家庭
科を中心に発展し歴史と伝統を誇
つてきました。家庭科の先生方は
先輩を大きい先生、後輩を小さい
先生と呼んでいました。日直の組
合せなども大・小と組んでいまし
た。

時代は代り、学校も変りました。
同窓教員も少なくなり、男女の比
率も随分変わりました。家庭科教育
を主眼とする家庭科は減少し、普
通科と生活情報科はよく健闘して
います。横這いのようです。福祉
科は時代を反映し入学志願者が増
加傾向です。

同窓生の皆様、母校の良さを再
認識して下さい。時代に即応した
教育を逸速く取り入れている大妻
高校に生徒を送り、元氣を下さい。



九十年、 百年に向けて

相談役（教頭）
池田延己

函館大妻高等学校同窓会の皆さ
まには、日頃から暖かいご支援と
ご協力をたまわり、心より感謝申
しあげます。

本間前教頭の後任として職責を
任されることになりましたが、責
任の重さを痛感しながら、全力で
目的の遂行に当たる所存です。の
よろしくお願ひ申しあげます。

さて、ご承知のように本校は、
伝統ある家政科教育や、実績を積
み重ねている福祉教育など、八十
年の歴史の中で、常に「特色ある
学校づくり」を推し進めてきまし
た。社会にでて活用できる、いわ
ゆる実学教育です。

しかし、少子化の波は容赦なく
押し寄せてきており、創意・創造
・創作が欠かせない要素になつて
きています。もちろん、教職員
個々人の職務意識の高揚も求めら
れます。同時に同窓生の方々の絶
大なご協力もお願ひ
しなければなりません。
九十年、百年に
向けて、よろしくお
願ひいたします。





日高支部

支部長 赤羽初音

S30年卒業(旧姓 佐藤)

色づく季節になつてあでやかな紅葉が山から里に近づくころとなつて来ました。一年間と云うのはなんと早いことでしょうか。齢を重ねて来ますとその感がずしりと胸に迫つてきます。それにしましても平成十五年から十六年と台風が多かつたこと。

災害からなかなか立ち上がれない方々にも大きな励みになつたのではと思われる喜びごとが数々ありました。北海道へは渡ることなどないのではと、思っていたことが実現しました。戦い抜いて、高校野球の深紅の優勝旗を堂々とした姿で持ち帰つて来ました。なんとも頼もしく感動しました。やはり指導者、生徒の頑張り、父母さん達、地域のみなさま方の強い応援などの賜物なのでしょう。

又、日本人として誇りに思えたことが、大リーグとか野球のことは半分も解りませんが、なかなか成し得ることは難しいことを「イチロー」が、そして、スタンディングオーベーションで、外国の人達に祝福されている姿をテレビで



瀬棚支部

福士和子

S25年卒業(旧姓 中谷)

暑い暑いと云つておりました夏も過ぎて最近ほめつき肌寒さを感じる今日この頃です。先日、台風十八号では各地でいろいろと大変だつたと思います。被害にあわれた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

母校創立八十周年記念式典には私も出席させていただきました。久しぶりになつかしい友人にもお逢い出来たとて幸せに思つております。こうして出かけて行くのも元気でいればこそと思ひ毎日の生活に感謝をしながら暮しております。もうすぐ七十二才と云う年令に時の流れをしみじみと感じます。

縁あつてここ瀬棚の地に嫁いでから四十七年になりました。子供の頃は南茅部そして函館・札幌と、いろいろな生活の中でその時々、思ひ出が年令を重ねることとに少しづつ浮かんで来ます。中でも函館での生活は一層思い出深いものがあります。

母校の十年十年のふし目の記念式典には過去に何度か出席する事

が出来ましたが、次の十年後にも頑張つて出席出来ればと云う希望を持つております。

私達昭和二十二年入学の同期会が平成十三年四月二十五日に函館で開催されました。森本先生、上嶋先生、担任の大橋先生、とてもお元気な様子でなつかしく嬉しく思いました。次回は五年後と云う事でお開きとなりましたので再会をたのしみにしております。

これからの人生、一つでも二つでも楽しみな事があればそれを目標に日々元気に暮せるのではないかと思います。

正直、自分の中の記憶は遠ざかりつつありますが、これからも気持ちだけは若くありたいと願いつつ現在の気持ちのままにペンをとりました。

末筆になりましたが母校の皆様と同窓の皆様のご健康をお祈り申し上げます。





札幌支部の発展を願って

札幌支部長 岡田 珠子
S 26年卒業

全国津浦浦の同窓会の皆様、お元気ですか。

札幌支部の全盛に寄与して下さった18・19年卒業の先輩も七九歳八十歳の高齢を迎えられました。母校への報恩感謝念厚く、また支部創立者西田タカ先生を偲びつつ札幌支部総会・懇親会、隔月には親睦を深める花園会等々積極的に出席されますその後姿に、母校創立者外山ハツ校長先生の偉大さがしみじみと伝わってまいります。

札幌支部幹事三十名は先輩の心を大切にして年一回の支部総会・懇親会を盛会に終了することを願い、昨年は28年・33年卒業の幹事の綿密な懇親会は大成功。今年も25年・34年・36年卒業の幹事が集い何回も打ち合せや練習を重ねる過程で、本番は意気投合し会場は和気あいあい、「来年もまた出席しよう」という声をいただき目的を達成しました。

平成十七年五月十四日(土)は今年同様札幌サンプラザを会場として総会・懇親会が予定されており、当番幹事は25年・35年・41年

でどのように展開されるか楽しみです。案内状も限られますので、この紙面をお借りしました。問い合せは庶務の28年卒業藤本美智子(奥野)までお電話をどうぞ。011-377-3105お待ちしております。



函館大妻高等学校同窓会札幌支部(平成16年6月12日)於 札幌サンプラザ



東京支部二十周年を迎えるにあたって

東京支部長 東 時子
S 39年卒業(旧姓記田)

函館の二月は雪が根雪となり、一年で一番冷える日々と思っております。最近では雪が積もる事もまれで、寒さも昔程厳しくならないと伺っております。

同窓生の皆様にはお元気で暮らしの事とお喜び申し上げます。

日々の流れは早く、東京支部の同窓会・懇親会の会場を「弥生会館」から現在の「京王プラザホテル」に移しまして、早や十二年の月日がたつてしまいました。

今年、支部は二十周年で、人間の成人と漸くなります。支部の立ち上げから、現在迄の「あゆみ」を記念誌に託し、皆様にお届け致したいの思い、そして現在のお声も掲載させて頂きたいとも考えておりますので、校長先生始め諸先輩のご指導、ご協力をお願い申し上げます。二十周年当日は一人でも多くの皆様のご参加を頂きたく、役員一同心よりお待ち申し上げます。

末筆乍ら、同窓生の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。



第19回函館大妻高等学校同窓会東京支部総会 2004年6月12日 於 京王プラザホテル



相談役(前副会長)

山鼻米子

S18年卒業
(旧姓松田)

輝かしい開校八十周年のお祝いの行事が昨日の事のように、嬉しく脳裏に浮かんで参ります。S16年入学時の暗い校舎を思い今の幸せをしみじみとかみしめました。そしてこの幸せなときを思い出と胸に残し、役員を退任させて頂こうと心に決めておりました。六十年周年記念のお祝いの時から、二十年近く福利厚生部を担当、大妻祭に参加させて頂き、ワタアメ作り、大妻まんじゅうの販売から始めこの数年はベコ餅とおいなりさんが定番となり、学校の実習室をお借りして、皆さんの奉仕の下に利益をあげる事が出来、会の資金の負担になう事が出来ました。これ偏えに会員の皆様の絶大なるご協力の賜物と深く深く感謝致し、心より御礼申しあげます。



新副会長

平田優子

S55年卒業
(旧姓若山)

同窓生の皆様、お元気で過ごしのこととお喜び申し上げます。このたび、同窓会役員としてお手伝いさせて頂くことになりました。卒業してから二十五年が過ぎ「良妻賢母」の教えには今だ近くこのできない私ですが、三人の子の母として嫁としての忙しさの中で、元気に毎日を暮らせることに喜びを感じております。今までは、同窓会の皆様や諸先生方ともなかなかお会いすることもできませんでしたが、これを機に、もう一度母校の良さに触れながら楽しい時間を過ごしていきたいと思っております。名物のベコ餅や、大妻ならではの小物作りもとても楽しみにしています。



新会計鑑査

川原ヒサ

S45年卒業
(旧姓山口)

大妻高校を卒業して早や三十五年になります。今年、卒業して始めて同窓会に携わり学校へ行きました。学生時代廊下でヘラ付けをした事や職員室にはまだ懐かしさが残っており三十五年前にタイムスリップした気持ちでした。大妻祭ではフアッションショーを見せていただき、自分の学生時代との違いにも驚きました。ステージの生徒達の作品に胸が熱くなりました。ドレスが色々変わっていくのはすごいと思えました。又同窓会で作るいなり寿司、ベコ餅の手際の良さにはまだまだ学ぶ事があると思っております。同窓会への出席によって自分の担任の先生に逢える喜び、又学校を定年になつた先生方との昔話に花が咲く事を楽しみにしております。新役員として今度は九十周年にむけて一年一年を大切に皆様の協力と共に頑張つて行きたいと思っております。同窓会への一人でも多くの出席をよろしく願っています。

支部総会のご案内

- 札幌支部
日時 平成17年5月14日(土)
場所 札幌サンプラザホテル
連絡先 藤本美智子 (S28年卒業 旧姓 奥野)
TEL 011 377 3105
- 東京支部(20周年記念総会)
日時 平成17年6月11日(土)
場所 京王プラザホテル
連絡先 堂前和子 (S39年卒業 旧姓 横山)
TEL 046 242 2539



大妻祭 パザー

当番幹事より

S55年卒業 工藤 真知子

平成十六年度の同窓会は七月三日(土)花びしホテルにて開催され、五十五年、五十六年卒業学年が当番幹事となり、親睦会の進行をすることになりました。今回は突然、役員の方から、当番幹事をというお話があり、心の準備をしていませんでしたが引き受けることにしました。同窓会名簿から四人が手分けをしてクラスメイトに連絡をし、親睦会を手伝ってほしい旨のお願いをすると、「三ヶ月先の予定はわからない」、「子育てで忙しい」等、悲しい返事で厳しい状況の中でしたが今回、副会長に就任した平田さんを交えて五人で担当することになり、早速、会の内容を話し違い、短い時間の中で久しぶりに会った友との交流を深めてもらい、楽しく過ごして頂けるよう趣向をこらし、余興内容を決めました。カラオケ・ボケ防止体操・ビンゴゲームと快く参加して頂いた先輩、教職員の皆さんには宴を盛り上げて頂きました。

こうして未熟な私たちが当番幹事を無事に終えることができたのも役員の皆さん、教職員の皆さんのご指導・ご協力して頂いた賜物であり、厚くお礼を申し上げます。

ありがとうございます。
私たちも大妻高校を卒業して、早いもので二十五年が過ぎようとしています。昨年、本校も創立八十周年という大きな節目を超え、母校同様同窓会の益々の発展をお祈りし、ごあいさつと致します。

S56年卒業 関崎 由香利(旧姓田浦)

平成十六年度同窓会親睦会は、五十五年卒業と五十六年卒業とが当番幹事となりました。突然の指名を受け、どうして良いものかと戸惑いましたがまずは、しばらく会ってない級友や同期の人達に電話を入れました。思い出してもらえるか心配しながらも電話をする、すぐに懐かしい話へと花が咲きました。が、幹事の手伝いをお願いしますと、子供の事や仕事で休みがとれない等、皆とても忙しく、結果的には、私達職員四人と新同窓会副会長の平田さんと五人で担当する事になりました。

当日、私は余興の司会を担当する事になりました。何分初めての事なのでとても緊張しながら進行させて頂きましたが、皆様のご協力により、無事終了する事ができ何はともあれほっとしました。

ご協力頂きましたご来賓の皆様、先生方、先輩の皆様、同窓会役員の皆様に感謝いたしております。



S55年・56年卒 当番幹事



支部長会議



平成16年同窓会・親睦会風景(平成16年7月3日)於 花びしホテル



トピックス

「春の野点」茶道部、桜の下でお点前披露

本校の「野点」は初代校長、外山八ツ先生がお茶の心を理解し、礼儀作法を身に付けさせようと、昭和五十四年に始めて以来、毎年開催され今年で二十六年目となった。平成十六年五月十八日、八重桜、ツツジが咲き誇る校庭に設けられた会場には、生徒会役員・各クラス委員・長・同窓生・教職員、近隣の町内会関係者など、約六十名が出席。また、昨年に引き続き特養老人ホーム「愛泉寮」の利用者十人が特別招待された。茶道部員十



野点

四人は作法の一つ「立礼」に従いお点前を披露。参加者全員にお茶を手渡し、饅頭や干菓子と一緒に風流な一服を楽しんでもらった。部員たちは「お客様が多くて緊張したけれど、みんな働いてくれてうまく出来たので嬉しい。」と喜んでいました。

平成十六年六月十一日、本校の一年生全員が函館市湯の川温泉街の浜辺で海岸の清掃奉仕活動「シーサイドクリーン函館」を行った。これは一九七七年から続いているボランティア清掃で毎年一年生が活動している。当初は西部地区だったが、一九九三年から「シーサイドクリーン函館」と題して函館市営植物園周辺の浜辺を約二時間かけて清掃している。観光地美化実践運動として始めたこの清掃も今年で二十七回目である。今では一年生の恒例行事として定着している。一年生五クラス約百五十人は、四〜五人一組になり軍手をはめ、ごみ袋を持ちホテル・旅館街の南側の浜辺で東西六百メートルに渡り、ごみを拾い集めた。約二時間かけて清掃すると、用意した五十個のごみ袋はいっぱいになった。ポイ捨てされた空き缶、たばこの吸い殻、発泡スチロール等、

海岸で恒例のボランティア活動 〜一年生全員でシーサイドクリーン函館〜



シーサイドクリーン函館

ごみの種類は様々。古タイヤも捨てられていて、生徒もびっくりしていた。ごみを全て一掃した海岸は今年もきれいになり、生徒たちも満足していた。そして「来年こそはきれいなままの浜辺であって欲しい。」とみんなで願っていた。

ご案内

平成17年度 同窓会総会・親睦会のご案内

日時 平成17年7月2日(第1土曜日)
 親睦会 PM 5:00
 会場 PM 6:00
 会費 花びしホテル ☎57-0131 (函館市湯川町1-16-18)
 申込 5,500円(温泉にご入浴もできます)
 申込 平成17年6月20日までに同封の(青色)振込用紙で
 お申込みください。
 6月26日以降の取消は会費をお返しできませんのでご了承下さい。

当番幹事

S45年卒代表
 川原ヒサ子
 (旧姓 山口)
 TEL0138(49)4756
 S46年卒代表
 斉藤秀子
 (旧姓 小向)
 TEL0138(41)0368

本部だより

—各事業部活動状況—

名簿係

金子・T井戸
 随時名簿を整理しております。
 結婚、転勤、転居等により名前
 住所が変わられた時は、本部ま
 で連絡をお願いします。

会報係

池田・平田・T市山
 同期会の開催、同期会の活躍、
 近況等の原稿を募集しております。
 退任された先生方のご近況
 等もお知らせ下さい。

福利厚生係

池田・本間(ち)
 大妻祭同窓会コーナークッキー餅
 ・いなり販売」が定番となり好
 評です。今年もどうぞ宜しく。

会計係

金山・T野村
 年会費は「いとぐるま」の郵送
 代や各支部助成金等に充てられ
 ます。多くの方々のご協力をお
 願い致します

総会係

阿部・T小板
 今年は四十五年卒業・四十六年
 卒業の当番となっております。
 一人でも多くのご参加を期待し
 ております。

支部係

T宮本
 各支部の皆様、お元気でお過ご
 しの事と思います。毎年、支部
 会が各地で開催されていますの
 で、お誘い合せの上是非ご参加
 下さい。

平成十六年度卒業

【同窓会幹事】

家政科	工藤 菜緒子
福祉科	佐々木 亜也加
生活情報科	増川 絢子
普通科一組	高山 真由美
普通科二組	梅津 麻希

【連絡先 函館大妻高等学校】
 〒040-0002
 函館市柳町十四番二十三号
 TEL 0138-521890
 FAX 0138-521892
 同窓会事務局 小板 ユリ子

▼新入会員あいさつ▲

高校生活の三年間は瞬間に過
 ぎてしまいました。着慣れた制服
 通い慣れた学び舎、喜怒哀楽を共
 有したクラスメイトとの別れは寂
 しいですが、本校で学んだことを
 生かしてがんばりたいと思います。
 在学中、私達が密かに注目して
 いたのは同窓会の皆様のご活躍で
 した。大妻祭の時は、同窓会お手
 製のペコ餅やいなり寿司を頂きま
 したが、大変美味しかったです。
 この度、新会員として皆様のお
 仲間に加わることができました。光
 栄に思います。少しでもお役に立
 てるよう努力したいと思えます。
 ご指導よろしく願いいたします。
 (常任幹事 高山 真由美)

「年会費」のお願い

本年度もご協力、ご送金よろしくお願い致します。

年会費集計状況

皆様のご協力ありがとうございます

平成16年度

¥529,340 (511名)

(平成16年12月1日現在)

編集後記

初めて「いとぐるま」の編集に携
 わらせて頂き、あらためて同窓の
 皆様の母校への熱い思いを感じて
 おります。お手元に届いた時の感
 想などもお寄せ頂けたら幸いです。
 ご多忙中ご寄稿下さいました皆
 様に心よりお礼申し上げます。あ
 りがとうございました。

編集委員

北原幸子 金子梨枝
 池田靖子 平田優子
 市山禮子 金山富久子
 阿部幸子
 平田 記